

科目	日本国憲法	開講時期	1年前期
担当者	大賀 哲	履修方法	選択・教免必修
		授業形態	講義
		単位数	2単位
授業概要	国家の最高法規である日本国憲法の学修を通じて、統治機構や人権保障のあり方を学び、自由民主主義社会の一員として必須の憲法上の概念や歴史的経緯を知識として身につける。栄養教員に不可欠な人権についての理解を深める。また、授業内容の定着をはかるため適宜グループワークを行う予定である。		
	到達目標	評価基準	
	1. 憲法の条文を正しく理解する	定期試験で、日本国憲法の個別条文について問われた問題に6割以上正答できる	
	2. 憲法上の概念とその歴史的経緯を正しく理解する	定期試験で、日本国憲法の理念と歴史的経緯について問われた問題に6割以上正答できる	
	3. 栄養教員に不可欠な人権についての理解を深める	定期試験で、人権について問われた問題に6割以上正答できる	
準備・事後学習	毎回グループワークを行い授業の定着をはかる。グループワークに関連した課題を用意するので各自で準備を進め、授業に参加し、毎回の復習をすること。		
授業計画(授業内容)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法から見た「東西」と「南北」 2. 日本の近代にとって「憲法」とは 3. なぜ「国民主権」なのか 4. なぜ「平和のうちに生存する権利」なのか 5. なぜ「人権」なのか 6. 政治的権力からの人権と社会的権力からの人権 7. 思想・信仰と教育 8. 表現の自由 9. 経済的自由と社会権 10. 選挙権と代表 11. 中央の政治と地方の政治 12. 公正な裁判と裁判の独立 13. 違憲審査の積極主義と消極主義 14. 憲法改正と憲法擁護義務 15. 戦後日本の憲法体験 			
教科書	樋口陽一『憲法入門(五訂)』勁草書房		
参考書	内山奈月・南野森『憲法主義』PHP研究所		
評価方法	期末試験(50%)、グループワーク(50%)の合計		
特記すべき事項	毎回の出席は授業開始時に確認する。授業中の私語は厳禁する。		
質問・相談等の受付	質問、相談等は授業終了時に受け付ける。		